



通信

HP 学校だより
R3. 6. 28
NO. 12
文責 伊藤美佳

「あいさつ」の大切さ つづき 2

6月4日の「トヨサカ通信 NO.7」からずっと、代表委員会の子供たちは西門前の横断歩道や児童玄関前であいさつを続けてきました。その間に西門前であいさつをしている代表委員の子供たちに、「あいさつが変わってきましたか？」と尋ねると、「あまり変わっていません。」という答えや「少しは、でも・・・。」という答えが返ってきました。自分たちがあいさつをするだけでは、変化があまりないと感じているようでした。

代表委員の子供たちは、6月24日の昼の放送で「地域の人や友達、先生などに明るくを意識してあいさつをしていきましょう」と思いを伝えました。25日の朝には、4年生以上のクラスに行って、あいさつの大切さを呼びかけ、広めていきたいと教えてくれました。

代表委員会の子供たちが、思いが伝わるまであきらめずに活動しようとする姿勢に感心しました。4～6年生の子供たちに思いが伝わり、あいさつの輪が広がることを期待したいです。

※西門前の横断歩道に立って子供たちの様子を見てみると、ときどき「疲れているのかな？」「何か、いやなことがあったのかな？」と心配になるときがあります。心と体の健康を保つことがコロナの病気にならないための一番の方法です。「早寝、早起き、朝ごはん」を大切に、「えがお」の豊坂っ子でいてほしいです。

ウサギの名前決定！

豊坂小学校にやってきたウサギの名前が決定しました。「くろごま」です。



3年生は、ウサギの名前を決めるために、自分たちで名前の候補4つを決めました。その後、全校に配付するチラシを作り、全校放送で知らせしてから各教室へチラシ配布とお願いに行きました。22日の朝には、それぞれがいいなと思った名前を聞きに各クラスへ行き、全校で一番票数が多かった名前に決定しました。結果は、「くろごま」という名前を考えた3年2組 鈴木虹七さんが全校放送し、お礼の気持ちも伝えていました。

全校に聞いてくれたことで、「くろごま」は豊坂小の一員となりました。全校に発信することは大変だったと思いますが、そのおかげで人ごとではなくなりました。「自分のこと」として考え、かかわることが生活をより楽しくしてくれます。3年生、ありがとう！

6月の満月はストロベリームーン (6月25日)

6月の満月を「ストロベリームーン (苺月)」とアメリカでは呼ぶそうです。ちょうどイチゴの収穫時期にあたるので、この名前と呼ばれるそうです。昔の人は、特定の月の植物、動物、または天候に基づいて各満月に名前をつけていて、今でも人々はこれらの名前を使用しています。ここから、人間の生活と自然は切っても切れない関係だとわかります。6月の満月の別名は、ヨーロッパではバラを収穫する時期なので「ローズムーン」、他の地区では、暑い夏の始まりを意味して「ホットムーン」などがあります。日本なら、どんな名前の月になるかなと考えるとおもしろいですね。

